

<p style="text-align: center;">東日本大震災 対策本部情報</p>	<p style="text-align: center;">52号</p>	<p style="text-align: center;">2011/04/6 13:30現在</p>
--	--	--

各地本委員長殿

**ポーランドからJR東労組にメッセージ届く！**

**古都クラコフで東日本大震災の支援募金を取り組む！**

私達 JR 東労組は、1990 年東京で開催された国際鉄道安全会議、その後のクラコフの「日本美術・技術センター」（現在では「日本美術・技術博物館マンガ」と呼称変更）建設への協力やポーランド平和研修などを通じてポーランドの労働者・市民の皆さんと国際交流をつくりだしてきました。

3月11日の大震災、原発事故のニュースを聞き、これまで JR 東労組と交流のあったポーランド鉄道“連帯”の労働者、平和研修で協力していただいたクラコフ在住の日本人、ポーランド人の皆さんが、協力して大震災での被災地支援と鉄道復旧に取り組む JR 東労組へのカンパ活動に取り組んでいます。以下はカンパ活動に取り組むドロタ・ヴォシクさんからのメッセージです。

今日、被災しながらも支援活動に取り組む JR 東労組の友人の皆さまに想いをはせながら、クラコフで支援活動に取り組む仲間の皆さんが集まりました。私達は皆さまがポーランドを訪れた「マンガセンター」など思い出の場所に行きました。

写真に写っているのはクラコフで東日本大震災カンパに取り組むグループの代表です。森川さん、松崎さん、小林さん、石川さんと彼の小さな息子さん駿くん、イヴォナさん、アニエラとボグスワフさん、私の兄のアンジェイと娘のアラちゃん、最後に私ドロタです。



この写真に写っていませんが、元鉄道“連帯”委員長のドンブロフスキご夫妻と“連帯”鉄道労働者たち、ポーランド研修でお世話になった旅行社「ルミコ」ビエスワフ社長と社員、その他、皆さんの活動を理解し支援しています。私達は同じ気持ち、皆さまと共に活動しています。

写真からもわかるように今日は春のいい天気です。春はいつも私たちに喜びと希望を運んでくれます。しかし今年の春は、日本の友人たちを想うときいつもと違って感じます。

多くの皆さんが被災し、いまは大変な状況だと思いますが、やがて皆さまが希望に満ちた春を迎えることを願っています。毎日、少しずつでも皆様の生活がよりよくなっていく



こと、そしてよいニュースが私達にもたらされることを願っています。

強い連帯の気持ちで、被災者を支援し鉄道の復旧に向けて取り組んでいる JR 東労組の友人たちに敬意を表します。

私たちの思いは東日本大震災の被災者と家族とともにいます。すべての被災者の皆さんが健康を回復し、一刻も早く通常の生活を再建されることを願っています。

皆さまお身体にお気をつけください。

ポーランド、クラクフに住む日本人とポーランド人の友人から心より支援と連帯のメッセージを送ります。

(2011年4月3日記)

以 上  
J R 東労組本部